



平成27年12月3日

各位

会社名 株式会社 新星堂
代表者名 代表取締役社長 阿曾雅道
(JASDAQ・コード番号: 7415)
問合せ先 管理グループリーダー 中山高幸
(TEL: 029-860-7070)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年4月2日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成28年2月期の業績予想

平成28年2月期通期業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 15,000	百万円 △ 220	百万円 △ 220	百万円 △ 280	円 銭 △ 38.65
今回修正 (B)	13,500	△ 1,200	△ 1,200	△ 1,260	△ 173.94
増減額 (B-A)	△ 1,500	△ 980	△ 980	△ 980	—
増減率	△10.0%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	16,628	△ 517	△ 509	△ 696	△ 96.08

2. 修正理由

平成28年2月期の業績予想の売上高につきましては、上期においては概ね計画どおり推移いたしましたが、下期において新規出店店舗の想定来店客数が出店地域での認知度不足等により大幅未達となり、当初の売上計画を下回る見込みとなったことや、ヒット商品及び主力アーティストの新譜の減少等により、予想を下回る見通しとなりました。

営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、下期に賃料等の物件費削減や、不採算店舗の閉店、本部経費の削減等を図ることにより黒字化を見込んでいたものの、上記理由による売上高減少に伴う売上総利益高の減少や計画外の中古トレーディングカード売場を導入するための店舗改装による一時経費の増加等により予想収益が約3億8千万円下回る見込みとなりました。さらに売上減少及び退店店舗の増加に伴い商品回転率の低下が見込まれるため、滞留在庫の評価損が下期において約6億円発生する見込みであります。以上により、平成28年2月期通期の業績予想を修正するものであります。

また、当社は、当社の親会社である株式会社ワンダーコーポレーションとの間で合併を行うことを予定しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「株式会社ワンダーコーポレーションと株式会社新星堂の合併契約締結に関するお知らせ」をご覧ください。

(注)本業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以上